

第六回日台アジア未来フォーラム

東アジアにおける知の交流—越境・記憶・共生—

発表募集

1. 主 旨：「日台アジア未来フォーラム」は日本公益財団法人の渥美国際交流財団「関ログローバル研究会」主催の国際会議である。関ログローバル研究会（SGRA）は日台の学术交流を促進し、日本研究の深化を目的とすると同時にアジアの未来を考えることをその設立の趣旨としている。本会議では主にアジアにおける文学、言語、教育、歴史、社会、文化などの議題を取り上げる。第六回目の開催となる今年は「東アジアにおける知の交流—越境・記憶・共生—」について議論する。

帝国主義と植民地主義の下で進められた東アジアにおける近代化の流れは、それまでの中国を中心とした朝貢システムを崩壊させ、国民国家を中心とした国際関係を東アジアにおいて成立させてきた。西欧的国家モデルをいち早く志向して近代国家の成立に成功した日本は、二十世紀東アジアにおける知の交流を語る際に常に重要な役割を果たしてきた。しかし、近年のグローバル化の急速な進展によって、国民国家制度の恣意性が明らかになり、また様々な分野の活動にみられる多くの越境者たちの存在や異なる共同体における記憶の構築、多文化主義に見られる共生の実践など、多種多様な交流の形態はこれまでのような国家単位における知の交流の形を大きく変えてきている。今日においてこうした議論は大変有意義であると思われる。本シンポジウムでは、こうした東アジアにおける知の交流の変容を、参加者たちの多様な立場とアプローチによって読み解いていきたいと考えている。

2. 主 催：日本公益財団法人の渥美国際交流財団、文藻外語大学日本語学科、台湾大学日本語文学学科、台湾大学日本研究センター
3. 会 場：文藻外語大学
4. 開催日：2016年5月21日(土)
5. テーマ：東アジアにおける知の交流—越境・記憶・共生—
6. 関係領域

【文学】

越境するジェンダー

可視化／不可視化されるジェンダー

日本文学と東アジアとの接点

近代文学における創生と伝承

日本語文学の展開

横断する日本語文学

日本語文学による知識（人）の表象

日本文学から見る知識の伝播

近代文学の生成における「留学」

【日本語学・教育】

日本語教育から見た多文化共生の実践

音声知覚にとっての日本語教育

日本語教育における実践知の役割

日本語の伝播の行方

日本語教育における知の受容から知の創造へ

グローバル化時代の日本語教育の構築に向けて

多文化共生と言語学習

留学と移動から見る言語教育

【歴史・社会・文化】

ポストコロニアル状況と日本

多文化共生による「公共知」の創出

東アジアにおける知の蓄積と変容

学際的な知のネットワーク

東アジアにおける多文化共生の実践

留学と移動による知の統合

東アジアにおける知識（人）の移動

7. 発表方法

・使用言語：日本語、中国語、英語、その他

・発表時間：発表 20 分・質疑応答 10 分

8. 申請方法

2015 年 9 月 20 日までに（1）「論文発表申請書」と（2）「論文要旨【中国語・外国語】」を下記のアドレスまで送って下さい。また、メールの件名は「第六回日台アジア未来フォーラム論文発表申請」として下さい。資料に不備があるものや締め切りを過ぎたものは受理しません。

連絡先：日台アジア未来フォーラム執行委員会秘書 邱琳

e-mail: wenzaoaisf@gmail.com

電話：0933-274-803

9. 提出資料：①「論文発表申請書」（添付資料 1）、②論文要旨【中国語・外国語】（添付資料 2）。

10. 審査方法：本フォーラム委員会の審査を経た後、採用の論文数と発表者 決

定いたします。

11. 審査結果：結果は 2015 年 11 月 30 日までに E メールにてお知らせいたします。
12. 論文提出期限：2016 年 3 月 18 日（金）までに完成した論文（8000 字以上）を上記のアドレスまで送って下さい。
13. 本フォーラムでの論文発表後、修正・補充・審査を経て、審査合格論文を編集して、台湾大学「日本学研究叢書」（中国語・日本語）において出版する予定です。

文藻外語大学日本語学科
第六回日台アジア未来フォーラム執行委員会